

**安全・安心な社会をめざして
～ “人づくり” の観点から～**

常葉大学大学院環境防災研究科

重川 希志依

各地震時の人的被害・住家被害

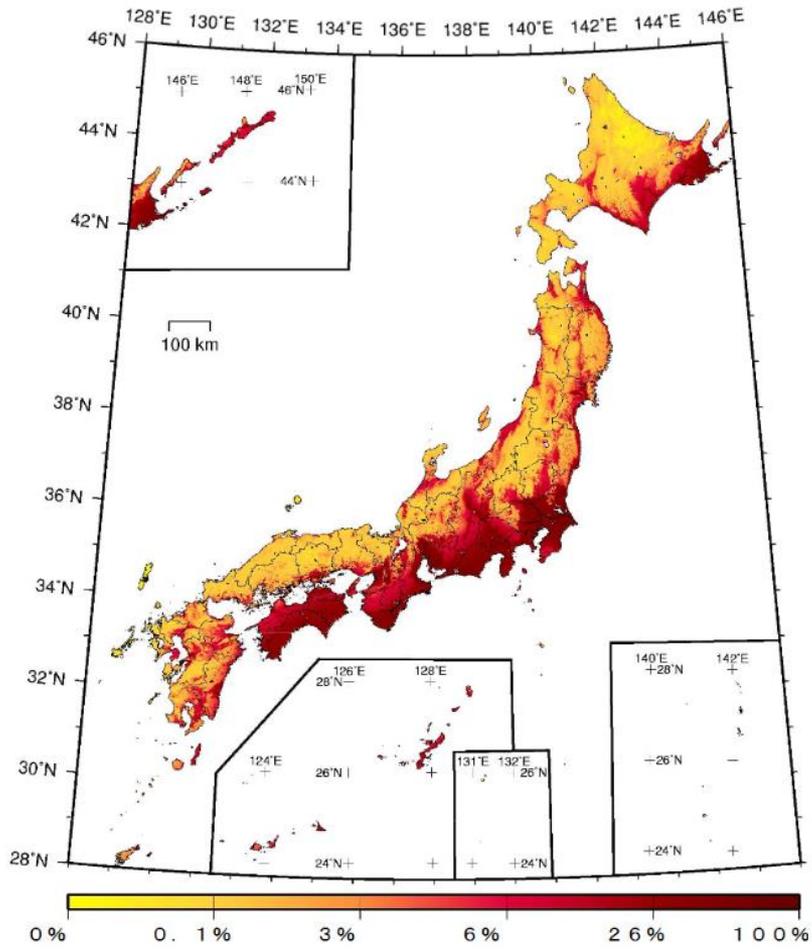
地震名	発生年月日	死者	住家被害(全壊・半壊)	
阪神・淡路大震災	1995. 1. 17	6, 4 3 2名	2 4 7, 1 6 5棟	全壊・半壊
新潟県中越地震	2004. 10. 23	6 8名	1 6, 9 8 5棟	全壊・半壊
熊本地震	2016. 4. 14・16	2 2 8名	4 0, 8 4 7棟	2016. 12. 14日現在
首都直下地震	?年	2 3, 0 0 0名	6 1 0, 0 0 0棟	全壊・焼失のみ
南海トラフ巨大地震	?年	3 3 0, 0 0 0名	2, 3 8 2, 0 0 0棟	全壊・焼失のみ

“防災”の枠組み

対 策 目 的	自然現象 の理解	被害の抑 止策	被害の軽 減策
いのちを守る			
生き残った 人の暮らしを つなぐ			
人と地域の 再建・復興			

対策1. 自然現象の理解 Knowing Hazard

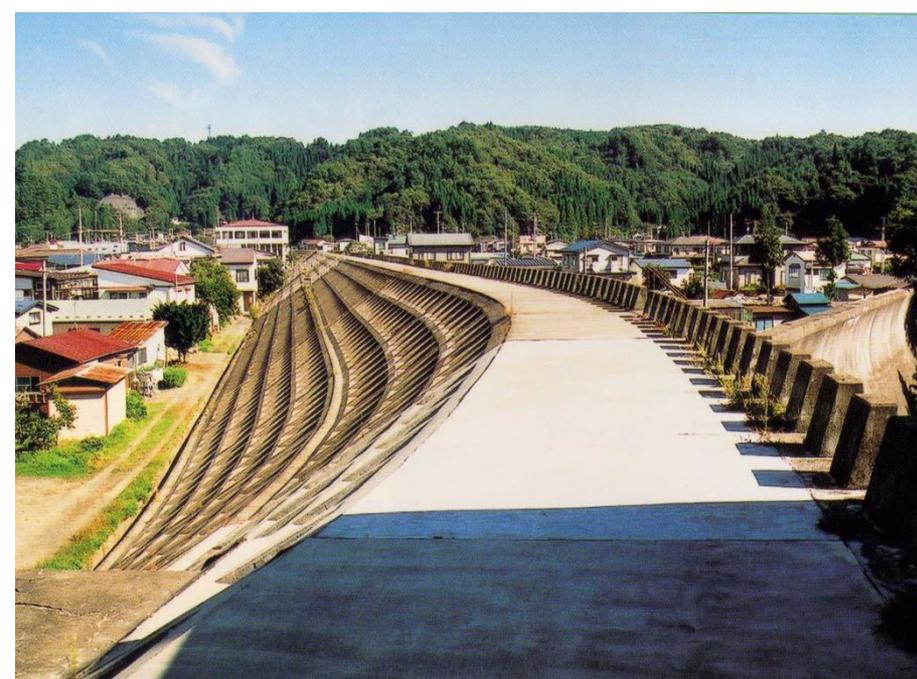
地震学、火山学、気象学など



今後30年間に 震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
(地震調査研究推進本部)

対策2. 被害の抑止 **Mitigation**

耐震化、防潮堤、家具の固定
土地利用など



対策3. 被害の軽減

Preparedness

コミュニティの育成

防災訓練、防災教育

防災マニュアル作成など



目的1. いのちを守るために

- ✓ どこに・どのような家に住むか？
- ✓ 命を守るために避難するか？
- ✓ 隣近所の人達に認知されているか？



自ら決め，自ら行動すること (自助)

目的2. くらしを守る

- ✓ 避難所開設, 物資の提供は公助であっても

最適解を実行するには (共助の力)

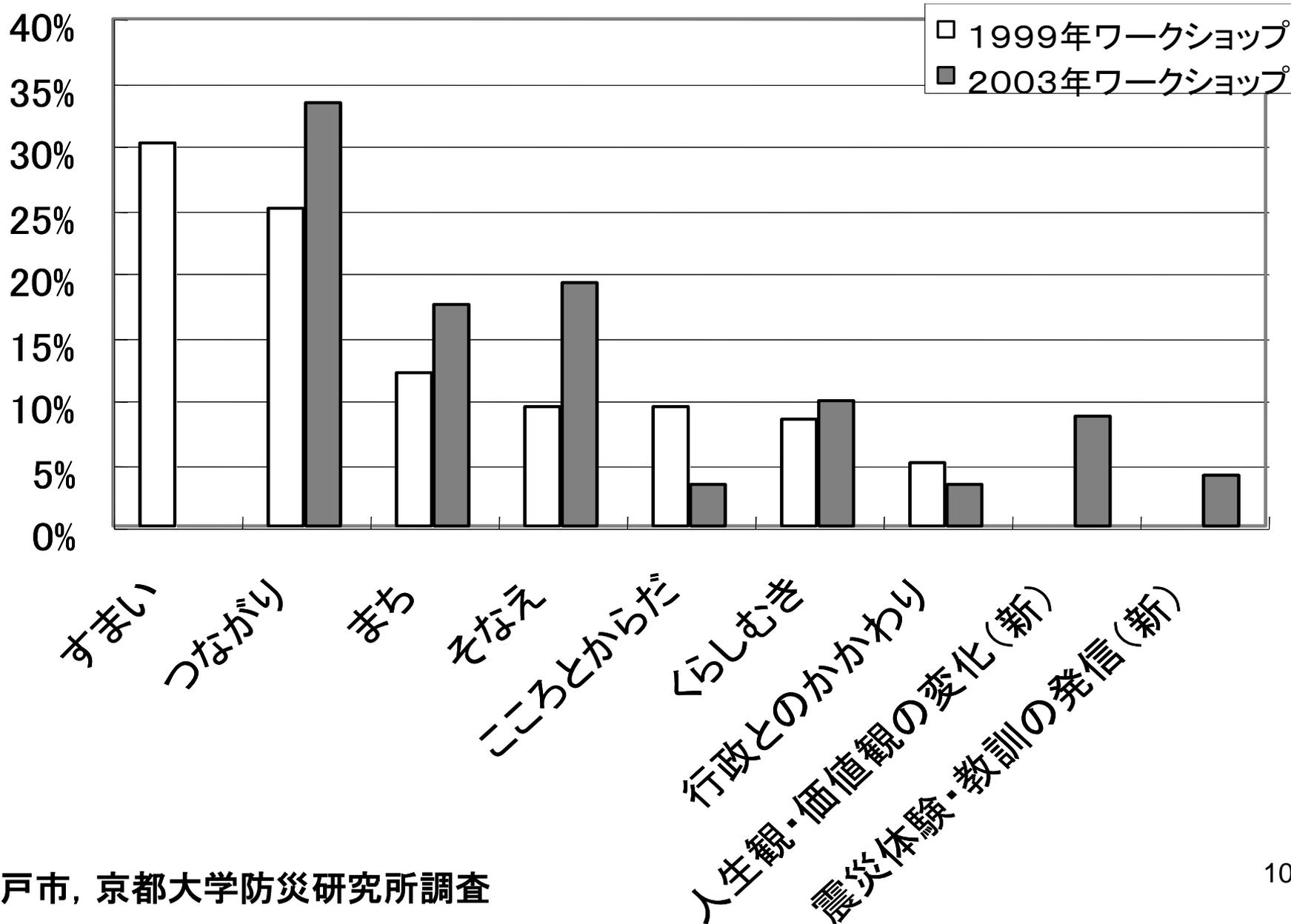
目的3. 人と地域の再建・復興

“自立再建が基本”

VS.

“公的支援のさらなる拡充”

くらしの再建の7要素



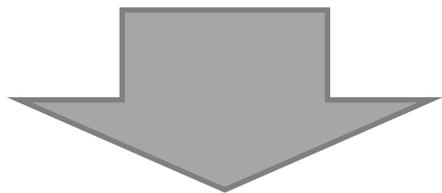
東日本大震災借上げ仮設住宅居住者の特徴

- ✓ 避難所や仮設住宅でお世話になることは、考えてもみなかった
- ✓ 親類や知人のつてを頼った避難生活と住宅再建
- ✓ 自腹で買い物、自力で移動という当たり前の生活を直後から続けている
- ✓ 被災者の立場から早く抜け出したい、とにかく家族で前に進まなければ

1. いのちを守る

「しつけ」と「教育」の混同

- 自分の命は自分で守ることが大切
- 危険を知らせる情報が出たら避難する



あたり前のこと、教育以前のしつけの問題

2. くらしを守る

共助でなければ解決でいない課題

- 限られた資源を有効に使う
- 自分だけ良ければ→みんなにとっての最善は？

3. 住まいと暮らしの再建

自助が基本

- ✓ 資金調達力（貯蓄，地震保険）
- ✓ 家族や親戚、友達とのつながり
（部屋探し，土地探し，建設業）
- ✓ 公助は後押し

3. 住まいと暮らしの再建

共助と公助の重要性

- ✓ マンション、まちづくりなど
- ✓ 自助に限界のある方たち
- ✓ 年齢、資金、ハンディキャップ、人とのつながり
- ✓ 公助による支援の重要性

求められる防災教育

1.被災者とならない人材の育成

- ✓ 多くの防災教育プログラムの存在
- ✓ その多くは被災者となったらどうするか？
 - ①大切な人の命が奪われないために
 - ②大切な財産を失わないために

目の前で家族が火災で焼け死んでいく
家具の下敷きで家族が亡くなった

求められる防災教育

2. 率先リーダーとなれる人材の育成

- ✓ 最初の一言を発するリーダー
 - ① 行政「早く持って来い」でなく「しばらく我慢、助け合おう」と言える人
- ✓ 最大限の防災力を引き出すリーダー
 - ① 断片的にでなく、災害対応のプロセスを理解する

多くの人々の知識はマスコミの限定報道
ステレオタイプの災害対応

求められる防災教育

3. 賢い被災者となれる人材育成

- ✓ 行政依存では遅れる生活再建
 - ① 自立・自助が最も早い生活再建を可能とする
- ✓ 生活再建プロセスのイメージが希薄
 - ① 資金調達、血縁・仲間縁の重要性

求められる防災教育

4. 知識体系を構築できる人材育成

- ✓ 避難訓練・消火訓練・炊き出し訓練 etc

	現象の理解	被害の抑止	被害の軽減
いのち			
くらし			
再建			

そのために

✓ **なぜそれが必要なのか？**

**被災地で起こっていること、被災者の
の思いを真摯に学ぶ**

✓ **そのために何をしておくべきなのか？**

**防災教育でしか学べない具体的な
技術、備えのための知識を伝える**